

# 電子入札システムガイドブック



平成19年4月



名古屋市財政局  
契約部契約監理課

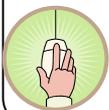
# 目次

## 電子入札システムをはじめましょう！

名古屋市電子入札に必要な準備について記載しています。「インターネット環境が整ったパソコンを持っている」方や「入札参加者登録は済んでいる」方など状況に応じたところから読み進めてください。

第1章 電子調達システムの導入……………1	第4章 電子入札システム操作方法【工事・委託】編…23
1. 電子調達システムの導入背景……………1	1. 画面の流れ……………23
2. 電子調達システム導入の目的……………1	2. 電子入札システムの起動（1）……………24
3. 電子調達システムの構成……………2	2. 電子入札システムの起動（2）……………25
4. 電子入札システムの概要……………3	2. 電子入札システムの起動（3）……………26
（1）コアシステムの採用……………3	3. 調達案件検索（1）……………26
（2）電子入札の対象区分……………3	3. 調達案件検索（2）……………27
（3）対応入札方式……………3	3. 調達案件検索（3）……………28
5. 電子化で業務が変わる！……………4	4. 操作の流れ（指名競争入札）……………29
6. 電子入札導入スケジュール……………4	第5章 電子入札システム操作方法【物品】編…40
7. セキュリティ対策……………5	1. 画面の流れ……………40
（1）従来との比較……………5	2. 電子入札システムの起動（1）……………41
（2）電子署名とは？……………5	2. 電子入札システムの起動（2）……………42
第2章 さあ準備を始めましょう！……………6	2. 電子入札システムの起動（3）……………43
1. 電子入札開始までの流れ……………6	3. 調達案件検索（1）……………43
2. 電子入札の準備……………7	3. 調達案件検索（2）……………44
（1）入札参加者登録について……………7	4. 操作の流れ（指名競争入札）……………45
（2）ICカードとパソコンの準備……………8	5. 物品見積情報一覧……………54
（3）利用者登録……………11	第6章 Q&A……………56
第3章 いよいよ電子入札へ……………17	第7章 その他……………59
1. 名古屋市ホームページからの画面の流れ……………17	
（1）電子調達システムと3つのサブシステム……………17	
（2）電子入札システムへの進み方……………18	
（3）電子入札システムトップページの詳細……………19	
2. 調達案件の検索……………20	
3. 調達情報サービスシステムの使い方……………21	

### この資料のマークについて



マウスを押下(クリック)します



キーボードから入力します



電子メールが届きますので、各種通知書等を確認してください。

# 第1章 電子調達システムの導入

## 1. 電子調達システムの導入背景

### 1 e-Japan重点計画

ITに対応した高度かつ効率的な行政運営の実現

### 2 CALS/EC地方展開アクションプログラム

国土交通省の推進する公共事業に関する事務プロセスの電子化

電子調達システムの導入へ！

## 2. 電子調達システム導入の目的

### 1 行政サービスの向上

入札・契約事務に対してインターネットを活用することにより、市民や事業者の方の来庁に係る時間と経費を縮減し、利便性の向上を図ります。

### 2 透明性の向上

工事等の発注の見通し、入札情報や入札結果などの調達情報をインターネット上で広く公開することにより情報公開度を高め、本市入札・契約手続きの透明性を向上させます。

### 3 公正性の向上

インターネットの活用により、市民や事業者の方が調達情報を入手する場合や事業者の方が入札に参加する場合におけるアクセス条件に伴う有利・不利をなくし入札・契約手続きの公正性を向上させます。

### 4 競争性の向上

インターネットによる調達情報の公表により、事業者が市の入札・契約に関する情報を入手しやすくなり入札参加者の増加を促し競争性が向上します。

### 5 不正行為の防止

調達事務の電子化により入札手続の透明性、公正性、競争性が向上し、談合などの不正行為の抑止力が高まります。

### 6 事務の効率化

IT及びインターネットの活用により、入札の執行、開札を始めとした市内部の手続や作業を軽減するとともに、契約情報の一括管理を進め、事務の効率化を図ります。

### 3. 電子調達システムの構成

名古屋市の電子調達システムは、次の3つのサブシステムで構成されています。

#### 調達情報サービスシステム

名古屋市より公表される調達に係わる情報(工事発注見通し・入札情報等)をインターネットを通じて検索・閲覧します。

#### 入札参加者登録システム

名古屋市に対する競争入札参加資格審査申請手続きを行うに当たって、インターネットからの登録を行います。

#### 入札執行システム(電子入札システム)

入札書の受付、開札、落札結果の通知等入札に関する一連の手続きについてインターネットを通じて行います。

## 4. 電子入札システムの概要

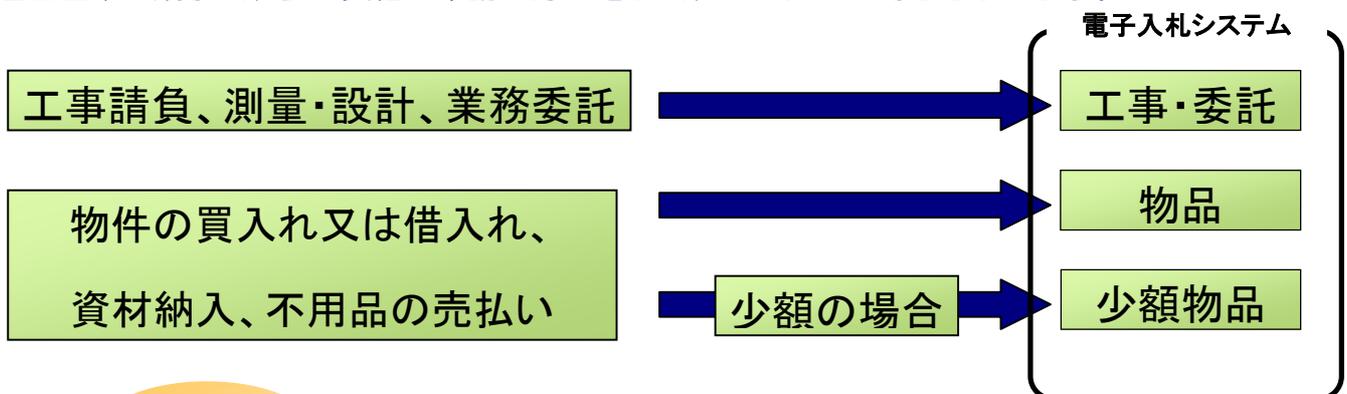
### (1) コアシステムの採用

- 国土交通省や多くの自治体と共通のシステムとなる「電子入札コアシステム」を採用しています。
- 事業者の画面は、国土交通省の電子入札とほとんど同じであり操作方法が簡単です。
- コアシステムはICカードを利用しますが、コアシステムを採用している国土交通省や他の自治体と共通のものを使用することが出来ます。

### (2) 電子入札の対象区分

電子入札システムは「工事・委託」、「物品」、「少額物品」の3つのサブシステムから構成されています。

名古屋市の競争入札参加資格の申請区分と電子入札システムの対応を示します。

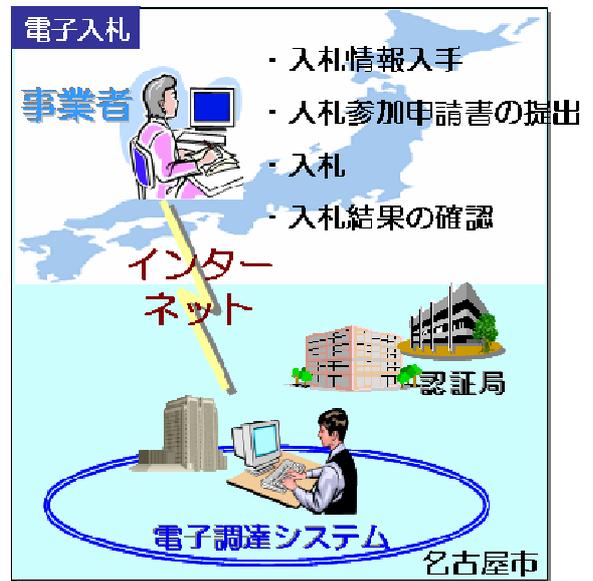


### (3) 対応入札方式

名古屋市が実施している下記の入札方式に対応できます。

一般競争入札	入札後資格確認型一般競争入札
指名競争入札	随意契約

## 5. 電子化で業務が変わる！



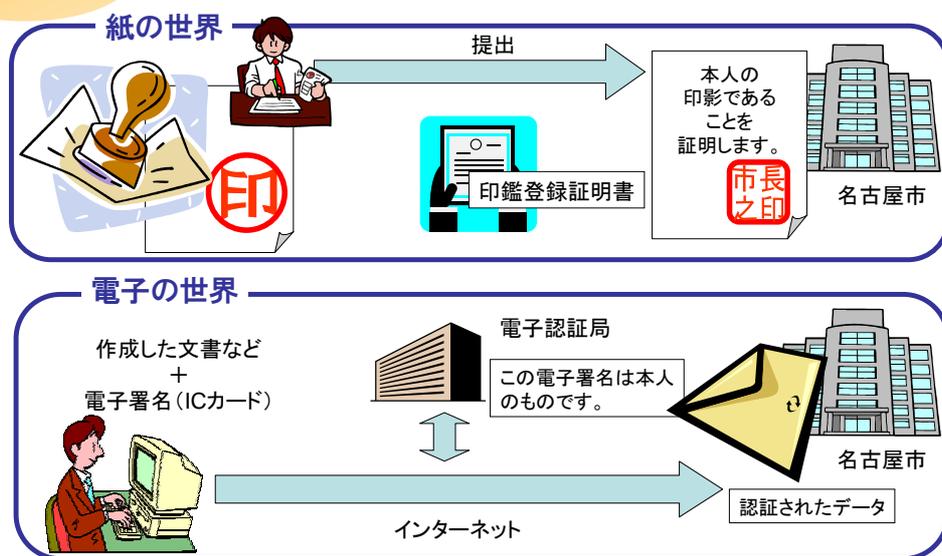
## 6. 電子入札導入スケジュール

		平成17年度 フェーズⅠ	平成18年度 フェーズⅡ		
調達情報サービスシステム		H16年 7月 1日から運用開始			
入札参加者登録システム		H16年11月15日から運用開始			
<b>原則として、全ての競争入札が平成18年 6月 から電子入札化！</b>					
電子入札システム	工事・委託システム ・工事請負 ・測量・設計 ・業務委託	一般競争入札	H17年9月22日から運用開始	対象拡大	本格運用
		指名競争入札		対象拡大	本格運用
	物品システム ・物件の買入れ 又は借入れ ・資材納入 ・不用品の売払い	一般競争入札	H17年9月22日から運用開始	対象拡大	本格運用
		指名競争入札		対象拡大	本格運用

## 7. セキュリティ対策

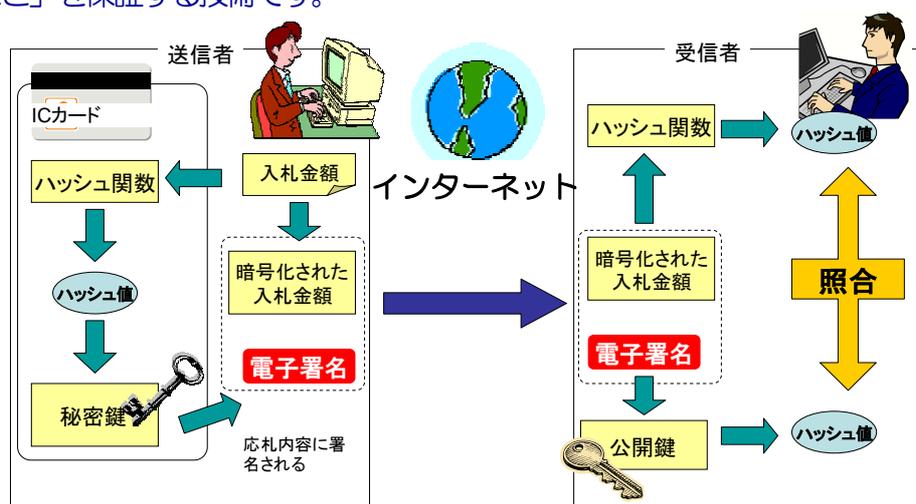
インターネットでは相手が全く見えません。相手が確実に入札の権限を有する者であるかどうかをチェックするしくみとして、**電子署名と電子認証（信頼のおける第三者による本人証明と暗号化通信）**があります。こうした技術によって、盗聴（盗み見）、なりすまし、改ざんなどの不正行為を防止できます。

### (1) 従来との比較



### (2) 電子署名とは？

電子署名は、公開鍵暗号方式の秘密鍵を利用し、電子データが「本人によって作成されたこと」、「改ざんされていないこと」を保証する技術です。



- ・ ハッシュ関数：データ改ざん対策として、暗号化の応用として使われる関数。
- ・ 秘密鍵・公開鍵：秘密鍵と公開鍵を一对で用いて、暗号化・復号化に使用します。